

座談会

毎年恒例となりました、市民の皆さんと市長との新春座談会。今年のテーマは「時代を紡ぎその先へ～未来への鍵～」。

今回の座談会では、多くの歴史が刻まれた下関で、それぞれの分野の第一線を担う方々にこれまでの活動を通じての思いや、今後の展望を市長と語り合っていました。

五十嵐美紀子

下関市文化協会 会長

熊本県出身。声楽家。宮崎大学教育学部卒業後、熊本に戻り高校の音楽教諭を務める。その後、下関に移りソロリサイタルをはじめ、多彩な演奏活動や後進の指導など地域に根差した活動を行う。平成13年市芸術文化振興奨励賞受賞。

武部忠夫

「劇団海峡座」主宰

下関市出身。豊浦高校、北九州大学に学ぶ。昭和28年に劇団 海峡座を設立し、上演回数は400回を超える。多くの演出、脚本を手掛け、エッセーや作品解説なども多数執筆。山口県知事選奨、山口県文化功労賞など多数受賞。

安富静夫

東行庵 顧問

下関市出身。郷土史家。元下関市職員。退職後、下関市史の編さんに従事。その後、市立中央図書館長を、開館から昨年3月まで8年間勤める。下関の歴史を後世に語り継ぐため、歴史講座の講師など、精力的な活動を行う。



五十嵐美紀子さん



武部忠夫さん



安富静夫さん

2019 新春

「時代を紡ぎその先へ ～未来への鍵～」

石山義秀

下関市美術協会 会長
熊本県天草市出身。高校の時に下関へ移住。上京し、その後、南フランスの国立美術学校に入学。卒業試験でフランス全土で最高の賞「フェリシタシオン・ジュリ」を受賞。帰国後、市内にアトリエを構え、絵画展開催や後進の指導を行う。

和仁皓明

西日本食文化研究会 主宰
北海道函館市出身。雪印乳業に長年勤め、チーズやバターなどの研究開発に従事。縁があり、東亜大学大学院教授を務め下関に移る。農学博士でもあり、他文化にも広く精通する。下関くじら食文化を守る会の会長も務める。

前田晋太郎

下関市長
下関市出身。長崎大学卒業後、下関に帰郷。政治家事務所の秘書を経て、下関市議会議員を務める。その後、下関市長に初当選し、現在1期3年目。「希望の街」実現に向けて、日々公務にいそしむ。



石山義秀さん



和仁皓明さん



前田晋太郎市長